第３回　滋賀県女性の参画による防災力向上検討懇話会　概要

参考資料１

日時：令和元年９月17日（火）　13時30分～15時30分

場所：滋賀県危機管理センター２階　災害対策室５・６

**１　前回（第２回）以降の動きについて**

・前回（第２回）の振り返り（参考資料１）

・８月にワーキンググループを２回開催し、懇話会提言骨子の検討を行った旨説明（参考資料２）

（第１回ワーキンググループ）

①新たな施策の方向性（６項目）を５つの「柱」として以下のとおり構築（「６　防災対策は災害発生前から発生後までのトータルで考える」は前文として記載）

防災対策は災害発生前から発生後までのトータルで考えるべきとの認識の下、次に掲げる５つの柱に基づき取り組む。

柱１　女性たちも地域防災の主体になる（エンパワーメント）

柱２　地域の特性に応じた、災害に強いコミュニティの育成

柱３　誰も取り残さない防災

柱４　防災活動の実践者の増加

柱５　地域防災の担い手の拡大

②ワークショップにより、柱に応じたアイデア出しを行う。

（第２回ワーキンググループ）

①５つの柱を「目指すところ」として以下のとおり再構築

（内容が似通っているため柱４および柱５を統合）

Ⅰ　女性たちも地域防災の主体になっている。

Ⅱ　災害に強いコミュニティが形成されている。

Ⅲ　災害時に誰も取り残さない取組が進んでいる。

Ⅳ　防災活動の実践者が増加し、地域防災の担い手も拡大している。

②前回出されたアイデアや追加意見をグループ化し、施策案として整理

**２　議題（１）懇話会提言の骨子（素案）について**

懇話会およびワーキンググループでの検討結果を踏まえ、事務局が作成した懇話会提言の骨子（素案）の内容について説明。今回いただく意見により内容を修正し、座長文責の中間提言前文（案）と統合したものが中間提言となることを説明したところ、主な意見・応答は次のとおり。

|  |
| --- |
| １　目的 |

・骨子（素案）はポイントしか記載されていないが、提言として文章化する際には「一人ひとりの尊厳を守る」「防災をみんなのこと、いつものことにする」等の理念を目的の箇所に記載した方がよいのではないか。（当懇話会の特徴を表すため）

|  |
| --- |
| ２　「目指すところ」 |

　・Ⅰでは「女性も」とあるが、「女性たちも」に修正すること。

|  |
| --- |
| ３　施策案 |

（Ⅰ　女性たちも地域防災の主体になっている。）

　・「男女共同参画の視点を取り入れた防災講座の実施」は、男性の意識改革の啓発を含めたものであること。

・防災とは「日常生活の中で大切なものを意識して守ること」であり、人と人との繋がりが最大の防災であるとの考えから、「③女性が広く防災に親しめる環境を作る」というのは好ましい。

（Ⅱ　地域の特性を踏まえた、災害に強いコミュニティが形成されている。）

・「学校や住民、行政が一体となった地区防災計画の策定支援」との記載だけでは市町の業務範囲に思われるので、県ができることを例示した方がわかりやすい。

・Ｑ「優良事例の普及啓発」だけでみんなが動くのか。自主防災組織もない自治会も存在するので、自主防災組織がある自治会とない自治会が合同で活動する施策を追加した方がいい。

Ａ　県の施策としては、地区防災の向上のため防災アドバイザーの派遣事業が考えられる。

（Ⅲ　災害時に誰も取り残さない取組が進んでいる。）

　・Ｑ　最終報告ではLGBTQの方や、他に配慮を要する方も含めたものにしてほしい。または読んだ人にわかるように定義した方がいい。（「『災害時要配慮者』の定義として、一般的には女性、要介護者、障害者、高齢者、子ども、妊婦等が考えられるが、市町村によって捉え方が異なることから、様々な方を包含するものと考えている。」との事務局説明に対して）

　　Ａ　例示を記載することにする。

・「地域に住んでいないため見落とされない人」とあるが、地域に住んでいながら見落とされがちな人（ひとり親家庭等）もいるので、この部分については要検討

（Ⅳ　多様な主体が地域防災の担い手になっている。）

・「子ども食堂の防災教育の拠点化」との記載は、子ども食堂を防災教育の拠点にするように受け取れる。県として子ども食堂を中心に防災教育を進めていくように受け取れる。

資料１に対する意見を改めて照会した上で、座長と事務局で作成した中間提言を10月中旬に提出していただくこととなった。

また、県に対して提出するものであることから、中間提言には記載されなかった意見についても、最終提言に記載することとする。

**議題（２）女性の参画による防災力アップフォーラム（素案）について**

懇話会の提言を広く知ってもらうキックオフの場としてフォーラムを位置づけたことを説明。それに対する意見・応答は次のとおり。

・Ｑ　開催時期については、平日だと出席できない方が出てくる。ターゲットの設定によって決めるべし。

　Ａ　子育て世代の母親が出席しやすいよう、土曜日午前に変更。

・フォーラムについてはキックオフではなく、提言（案）に対して関係者から意見を求めるパブリックコメントとして位置づけることも検討する。

フォーラムについては次回の議論を踏まえて内容を決める前に会場を押さえることとする。（内容を決めてから会場選定を行っていては、適切な会場を確保できないおそれがあるため。）

**３　その他**

・第４回（最終回）は12月中旬予定とのことだが、今後の進め方については柔軟に対応する。

・各委員には、今回の資料１に対する意見（修正点、追加点）を１週間程度で提出していただく。